第８回　理事会

日　時：令和３年12月23日（木）13：00～17：00
場　所：貸会議室「内海」302会議室（Web会議併用）
出席者：長田会長（議長），伊藤副会長，清水副会長，
末永常務理事，秋山，稲垣，太田，大谷，大沼，
小俣，富岡，西山，長谷川（淳），長谷川（信），
舩山，升元，和田各理事，野村，齋藤各監事
（理事25名中17名出席（過半数）により理事会は成立）
陪席者：熊谷（事務局）
議事内容：

1. 前回議事録の確認
・令和３年11月15日開催の第７回理事会の議事録案について承認した．

2. 審議事項

１）会員状況の確認
・事務局長から12月23日時点の会員状況について説明があり，４名の会員の入会を承認した．
・正会員1,839名，学生会員46名，名誉会員55名となり，総数は1,940名であることを確認した．退会者の退会理由については，引き続き留意していくこととなった．

２）委員の新任について
・教科書執筆特別委員会より９名の新任の委員について承認した．

３）「応用地質」投稿時の保証書提出について
・担当理事より，標記の説明がなされた．「応用地質」への投稿受理後に，著者に対して「著作権譲渡同意書」とともに「保証書」の提出を求めることについて承認した．

４）令和４年度総会・シンポジウムの日程・会場について
・担当理事より，標記の説明がなされた．令和４年度総会・シンポジウムを2022年６月17日（金）に貸会議室「内海」3F教室を会場として，現状の案としてハイブリッド方式で開催することについて承認した．

５）Facebookの本運用について
・常務理事より，標記の説明がなされた．提案された本学会の「Facebookアカウント運用ガイドライン」，「ソーシャルメディアポリシー」に基づき，Facebookの本運用を開始することについて承認した．
・Facebookのアカウントに関しては，アカウントの乗っ取りに対する日常的な監視，悪意のあるメッセージに対するブロック等，アカウントの管理に関して広報・情報委員会に確認することとなった．また，本運用開始の際には，ホームページ，ニューズリストで周知することとなった．

６）「応用地質」の訂正記事に関する対応について
・担当理事より，標記の説明がなされた．対象となった訂正記事（資料）をJ-stageに掲載する際，訂正前の記事の掲載箇所に，エラータとして訂正後の記事へのリンクを設けることで対応することについて，承認した．
・訂正後の記事の組版に要する費用は執筆者への追加負担を求めないこと，今後，今回のような訂正の要望があった際にも同様の対応となることが確認された．

3. 本部からの報告事項

１）収支状況について
・事務局長より，令和３年度11月の本部収支予算について説明がなされた．11月単月では赤字決算となること，通期で見た場合には黒字と予想される状況が確認された．
・事務局長より，本部・支部の収支状況を定期的に確認したいとの要望が出された．これに対し，支部によっては毎月の収支の報告を本部に行うことは事務的負担が大きい旨，意見が出された．議論の結果，２か月または四半期ごとに各支部において収支状況をまとめ，本部に報告する方向で検討することとなった．収支状況の取りまとめ方法や具体的な手順については，総務委員会で確認していくこととなった（次回審議事項）．

２）教科書執筆特別委員会の開始について
・教科書執筆特別委員会が開始されたことが確認された．

３）キャリアデザインセミナーのアンケート結果について
・担当理事より，３回のセミナーが好評であったことと，今後要望する話題，自由回答の主な内容について確認された．

４）第３回先端技術ワークショッププログラム案について
・プログラム案が概ね確定したことが確認された．

５）「ジオ・スクーリングネット」登録方法の変更について
・担当理事より変更内容の説明があり，確認された．

６）地盤工学会関東支部「応用地質学と地盤工学の協働を考える」研究委員会報告書について
・常務理事より説明があり，研究委員会発足と本学会から委員を派遣した経緯について，清水副会長から補足の説明があった．
・本件については，地盤工学会内で本成果を地盤工学会の本部事案とするか協議中とのことであることから，理事会・関連する委員会において報告書ならび

に報告書説明資料を共有した上で，引き続き理事会懸案事項として状況を注視していくこととなった．

7）他学協会からの依頼

・常務理事より，日本工学会「令和４年度フェロー候補者推薦のお願い」について，今回は推薦を行わないことが報告された．次年度に向け，本学会から推薦できる人がいないか，検討することとなった．

・常務理事より，「防犯防災総合展2022」へ後援することとなったことが報告された．

・常務理事より，日本学術会議主催「原子力総合シンポジウム2021」に共催することとなった事が報告された．

8）令和４年度シンポジウムについて

・担当理事より説明があり，特別講演として，東北大学土屋教授による「地熱資源研究の最新動向（仮題）」が行われるなど，プログラムで新たに更新された事項について確認した．

4. 各委員会・支部・研究部会・小委員会からの報告事項

1）総務委員会

・常務理事より，12月21日開催の委員会議事録案が提出され，現在総務委員会内協議事項として，BCPに伴う会員情報のバックアップに関連して，個人情報取扱規程改定案の検討，来年度代議員定数，CPDに関するワーキンググループ・会員種別に関するワーキンググループの活動が挙げられた．このうち，CPDについては，本年９月の法改正で技術士会から出されたのはCPD登録後のガイドラインであり，このガイドラインとは別に，登録の方法については速やかにルールを整備していく必要があるとの指摘がなされた．

2）事業企画委員会

・担当理事より，12月９日開催の委員会議事録案が提出され，現在，シンポジウムへの学生の参加費や，若手研究発表会について議論を行っていることが紹介された．

3）国際委員会

・担当理事より，12月17日開催の委員会議事録案が提出され，外国籍の技術者による講演の報告では，我が国での外国籍の技術者同士の連携が希薄である現状が紹介された．

4）研究企画委員会

・担当理事より，12月９日開催の委員会議事録案が提出され，「一家に１枚ポスター」の取り扱いについて，検討の進捗状況が報告された．

5）応用地形学研究部会

・担当理事より，12月10日開催の研究部会議事録案が提出され，「盛土（もりど）と盛り土（もりつち）」の語句の用法について行われている議論が挙げられた．本件のみを取り上げて他学会との協議を行うことは困難ではないかとする指摘がある一方，「盛土（もりど）と盛り土（もりつち）」の用法に関しては，今後出版する予定となっている「土砂災害の疑問50」や応用地質学に関する教科書でコラムとして取り扱ってはどうかとの意見が出された．

6）将来構想検討特別委員会

・常務理事より，11月15日開催の教科書執筆WG議事録案が提出され，教科書執筆特別委員会に向けた準備について紹介された．

7）ダイバーシティ推進特別委員会

・担当理事より，12月15日開催の特別委員会議事録案が提出され，現在特別委員会で検討している事項として，各委員会・研究部会への若手・女性登用に関する検討が挙げられた．

これに対し，地質関連業界では，近年女性の参入機会が増え，女性比率が上がっているとの指摘があった．議論の結果，今後，それぞれの所属（会社等）ごとに若手・女性を学会活動に勧誘していく方策を検討するとともに，各委員会・研究部会においても若手・女性の登用を意識していくこととなった．

5. その他

・事務局長より，ダム地質カードカレンダーの余部が多くあるため，希望者は事務局に連絡頂きたいとのことであった．